

た)の集計の段階である。また、各都道府県に海外ワクチンの必要量のアンケートを出したところ、1月23日注文わずかに200回分であると報道されたばかりである。なお、GSKとノバルティスファーマ2社合わせて474万回分の供給が可能になったと報道された。今からが勝負である。正々堂々と正面からGSKとノバルティスファーマに契約の全面破棄を申し入れるべきである。わが国の最も優秀な弁護士ないしは法律事務所に早急に依頼すべきである。

20. 日本のワクチンにもっと光を 光は2010年歌会始の語

日本のワクチンは世界で最も高品質のワクチンである。できるだけ早く細胞培養ワクチンの製造体制を整えて、わが国のワクチンを発展途上国に供給するのが、先進国たる日本の使命である。そうすればスクワレル。

Tell me not "in mounful numbers"

Life is but an empty dream!

参 考 文 献

- 平成21年度薬事・食品衛生審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会(第7回)及び新型インフルエンザ予防接種後副反応検討会(第4回)(第4回合同開催)
<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/01/s0108-4.html>
- 見えてきた新型インフルエンザの起源。日経サイエンス 39(7):12-13, 2009
- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
html: <http://law.e-gov.go.jp/htmldata/H10/H10HO114.html>
- 堺 春美, 木村三生夫: 新型インフルエンザワクチン。臨床とウイルス 37(3): 112-125, 2009
- インフルエンザ 福見秀雄著, 新宿書房, 東京, 1979, pp.8-212
- 木村三生夫, 平山宗宏, 堺 春美: 予防接種の手びき 第12版, 木村三生夫, 平山 宗宏, 堺 春美 編著, 近代出版, 東京, 2008, pp.2-592
- 田代真人: A型インフルエンザウイルスの分類と命名。日本医事新報 No.3896: 108-109, 1998
- 福見秀雄, 熊谷富士男, 園口忠男, 武内安恵: 香港かぜーその流行の記録ー 1968~1969。(財)日本公衆衛生協会, 1971, pp.11-174
- 根路明国昭: 疫学でたどる新型インフルエンザ。臨床とウイルス 38(1): 55-61, 2010
- 古田 彩: 新型インフルエンザの本当の怖さ。日経サイエンス 2009年11月号: pp.34-41, 2009
- Garten RJ, Davis CT, Russell C A, Shu B, Lindstrom S, Balish A, Sessions WM, Xu X, Skepner E, Deyde V, Okomo-Adhiambo M, Gubareva L, Barnes J, Smith CB, Emery SL, Hillman MJ, Rivaller P, Smagala J, De Graaf M, Burke DF, Fouchier RAM, Pappas C, Alpuche-Aranda CM, López-Gatell H, Olivera H, López, Myers CA, Faix D, Blair PJ, Yu C, Keene K M, Dotson Jr PD, Bøxrud D, Sambol AR, Abid SH, St. George K, Bannerman T, Moore AL, Stringer DJ, Blevins P, Demmler-Harrison GJ, Ginsberg M, Kriner P, Waterman S, Smole S, Guevara HF, Belongia EA, Clark PA, Beatrice ST, Donis R, Finelli L, Bridges CB, Shaw M, Jernigan DB, Uyeki TM, Smith DJ, Klimov AI, Cox NJ: Antigenic and genetic characteristics of swine-origin 2009 A(H1N1) influenza viruses circulating in humans. Science 325 (5937): 197-201, 2009
- 来海和彦, 城野洋一郎: 新インフルエンザ A(H1N1)ウイルスの特性。臨床とウイルス 38(1): 76-82, 2010
- 堺 春美, 太田和代, 大野祥一郎, 木村三生夫, 組橋英明: インフルエンザ対策の現況と噴霧型インフルエンザワクチンについて。臨床とウイルス 27(3): 154-172, 1999
- 組橋英明, 兼松昭二, 合田英雄, 高見沢昭久, 堺 春美, 木村三生夫: インフルエンザウイルスの型別年齢層別血清疫学。臨床とウイルス 26(3): 156-163, 1998
- Itoh Y, Shinya K, Kiso M, Watanabe T, Sakoda Y, Hatta M, Muramoto Y, Tamura D, Sakai-Tagawa Y, Noda T, Sakabe S, Imai M, Hatta Y, Watanabe S, Li C, Yamada S, Fujii K, Murakami S, Imai H,